

向原中学校の道徳教育

日本国憲法
教育基本法…はじめて「道徳心を培う」ことが明記
学校教育法
関係諸法規
学習指導要領
社会の要請

改訂のポイント
①指導内容の重点化
②魅力的な教材開発
③道徳教育推進教師、指導体制の充実
④道徳の時間の公開、地域・家庭連携

学校教育目標

故郷『向原』に誇りを持ち 自ら学び 心豊かで
たくましく生きる生徒の育成

めざす学校像

「安芸高田・みつや協育」の理念に則り
○組織的、機動的な学校運営体制が確立している学校
○保・小・中・高及び家庭、地域との連携を密にしている学校
○働き合い、高め合う学校文化が醸成されている学校

めざす生徒像

○向原町、向原中学校、自らに対して誇りを持つ生徒
○命を尊び、思いやりの心を持って行動する生徒
○何事にも果敢に挑戦し、最後までやり遂げる生徒
○仲間と働き合い、高め合う生徒
○夢、志を持って、自らの未来を切り拓く生徒

めざす教職員像

○ゆるぎない教育哲学や教育理念のもと、高い専門性や指導方法を追求し、授業力の向上を図る教職員
○生徒とのふれあいを大切にし、熱意をもって実践する教職員
○豊かな人間性と教育的愛情にあふれた教職員

生徒の実態及び課題

- ・素直な生徒が多く、ルールを守ることができる。自主性を育てていく必要がある。
- ・校区に保育所、小学校、中学校がそれぞれ1校あり、生徒は、この間ほほ同じ仲間と生活してきている。そのため、集団としては安定しているが、固定的な面も生じやすいと考える。

地域・保護者の実態、願い

- ・多くの保護者が学校に対して協力的であり、基礎学力の定着はもちろん、社会性や協調性の育成も希望している。
- ・過疎・高齢化が進んでいる。・学校教育への期待が大きい。
- ・地域振興会の行事などに積極的に参加してほしいという願いを持っている。

●生徒指導の三機能を生かした道徳の時間の指導の工夫

★自己決定

- ・生徒が意欲的に学べるように、教材や教具、提示の方法などを工夫する。
- ・個人思考の時間をしっかり確保する。
- ・友達の意見との違いをはっきりさせ、自分の考えを持たせる。
- ・自分の考えをまとめて発表させる。
- ・生徒が振り返る場面を設定する。

★自己存在感

- ・生徒の名前を呼んだり、目を見て話したりする。
- ・発問を工夫し、多くの生徒に発表の機会を与える。
- ・生徒の考え方や発想などのよさを認める。
- ・1時間の授業の中で、すべての生徒に声をかける。
- ・提出したワークシートにコメントを書く。

★共感的人間関係

- ・生徒の発表に、うなずきや相づちで応え、共感的に受け入れる。
- ・友達の発表をうなずきながらしっかり聞かせる。
- ・生徒同士の発言をつなげ、協同して学習させる。
- ・対立意見を生むような発問を工夫する。
- ・あまり発言をしない生徒へ配慮する。

●言語活動

- 自らの考えや思いを文章表現し、視覚化を図る中で自己内対話の深化
- 自分とは異なる考えや思いを交流する中で新たな道徳的価値体系の確立

●教材開発

- 郷土向原で育まれてきた伝統と文化に触れる教材開発
- 郷土向原の先人や高齢者への尊敬と感謝の気持ちを育む教材開発

保・小・中・高連携

- ・高校訪問
- ・職場体験活動
- ・小中合同合唱祭
- ・運動会種目交流
- ・向原町小中高合同清掃
- ・教職員合同研修



感動体験

道徳的实践

職場体験活動 ボランティア活動 自然体験活動

郷土 向原

我が国

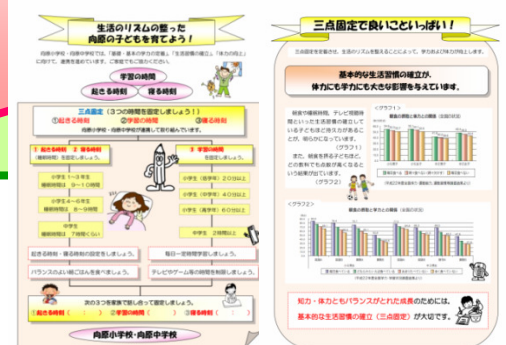
共存の精神

国際社会

家庭

基本的生活習慣の育成

- ・三点固定
- ・ノーメディアウィーク
- ・地域清掃への参加



研究主題

郷土を愛し、心豊かな生徒を育成する道徳教育
～生徒指導の三機能を生かした道徳教育を通して～

生きる力

道徳的価値体系の確立

自己指導能力

社会的貢献

道徳の時間

道徳的価値の自覚

道徳的实践力

命の尊厳

本校の重点項目 I

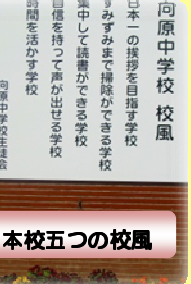
本校の重点項目 II

道徳的实践につながる教育活動

朝の挨拶運動



自主学習等の掲示の工夫



本校五つの校風

教者会へ参加



向中ソーランでしょうぶ祭へ参加



地域清掃への参加



花結び運動



地域の貯め池堤防への壁画作成



(中国新聞 H24.8.24)